

令和3年度

まちづくり活動助成

公開審査会  
資料



令和3年6月12日(土)区役所西棟6階第5・6会議室

杉並区都市整備部管理課

# 杉並区まちづくり助成（令和3年度）公開審査会プログラム

【日時】令和3年6月12日（土） 13:00～16:00

【場所】杉並区役所 西棟6階 第5・6会議室

◆ 開会のあいさつ 13:00

◆ まちづくりセミナー（びぎなーコース・セミナー）

進行 杉並区まちづくり活動団体助成専門アドバイザー

大戸 徹氏・松本 博行氏・三浦 春菜氏

◆ 公開審査会 14:00

◇審査会の進め方説明

◇応募グループの活動計画発表（発表10分・質疑応答10分）

	団体名	発表開始予定時間	資料ページ
①	西荻のこと研究所	14:00	1～6
②	あさうんど・あーす	14:20	7～12
③	ひとの樹	14:40	13～16

◇杉並まちづくり交流協会 活動報告 15:00～

◇審査 <休憩>（20分） 15:10～

◇審査結果の発表 15:30～

◇講評

杉並区まちづくり活動団体助成専門アドバイザー

大戸 徹氏・松本 博行氏・三浦 春菜氏

◆ 閉会のあいさつ 15:40

※進行状況により開始時刻等前後することがございます。あらかじめご了承ください。

杉並区 都市整備部 管理課

杉並区阿佐谷南 1-15-1 Tel. 03- 3312- 2111（内線 3503）

令和3年 5月26日

杉並区長 宛

代表者 住所

氏名 松本弘子

電話

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	西荻のこと研究所
事 業 期 間	令和3年 4月 1日 ~ 令和4年 3月 31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎなーコース ・ <u>すてっぴコース</u> じゃんぷコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	1. まちづくり勉強会（セミナー）の開催 大きな変化の時期を迎えている西荻窪駅周辺のまちづくりについて、専門家の力を借りて、市民でビジョンを共有していくためのきっかけづくりとして、セミナーを開催する。（参加者 50人程度） 2. 北銀座通りの道路拡幅 自由研究発表会（2） 補線 132号の道路拡幅の実施に関して、杉並区から公開されている情報を整理・提供するとともに、地元における様々な活動や、まちづくりに関する提案などを展示し、地元の方々や西荻を訪れる人への情報発信を行い、ともに考える仲間を募る。（2日間開催予定）
事業に要する総費用 予定額	130,000円
助成金交付申請額	70,000円
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日（協議会助成金のみ記入してください。）
添付書類	(1) 規約・会則（びぎなーコースのみ提出してください。） (2) 構成員の名簿 (3) 収支予算書 (4) 事業予定書

## 構成員の名簿

団体名称と	ふりがな にしおぎ けんきゅうじょ	名称 <b>西荻のこと研究所</b>	
	事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	〒 事務所 所在地	Tel. Fax.
代表者	ふりがな まつもと ひろこ	氏名 <b>松本弘子</b>	
	住所*〒 メールアドレス*	Tel. *	
連絡先  ※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	ふりがな おくあさけい	氏名 <b>奥秋圭</b>	
	住所*〒 メールアドレス*	Tel. *	
活動メンバー  ※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。  ※名簿を添付する 場合は、「別添」 と記入して下さい。	氏名	グループの役職	職業等*
		別添	
メンバー以外 の協力員等	西荻北銀座商友会、西荻東銀座会、善福寺川を里川にカエル会、 能登山明美		
	中島直人		

《注意》 すてっぷコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。

\*印の欄については非公開とします。

## 西荻のこと研究所 構成員名簿

2021年5月26日現在

活動メンバー

氏名	グループ内の役職	職業等
松本弘子	代表	
福田倫和	会計	
野田栄一	監査	
奥秋亜矢	窓口担当	
奥秋圭	窓口担当	
後藤摩美子		
松岡美由起		
鈴木貢成		
狩野三枝		
石井祐樹		
平野亜紀子		
國重安沙		
柴田久美		
伊藤花織		

## 収支予算書

### 《収 入》

内 訳	金 額
会 費	45,000 円 (年会費 3,000 円×15 人)
杉並区まちづくり助成金	70,000 円
他からの助成金	0
セミナー参加費	15,000 円
合計	130,000 円

### 《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費	講師謝礼 (2 名×20000 円) (大学教授 2 時間講演予定)	40,000 円	42,000 円
	資料作成費 (コピー代)	2,000 円	
(2) 広報活動費	研究発表会 ちらし作成・印刷	4,000 円	8,000 円
	セミナー ちらし作成・印刷	4,000 円	
(3) 事務運営・ 事業実施費	消耗品費 (コピー代)	2,000 円	20,000 円
	郵送費	2,000 円	
	会場費 1 (研究発表会 2 日間)	10,000 円	
	会場費 2 (講演 2 時間+準備 1 時間)	6,000 円	
合 計			70,000 円

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費
- 事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

## 事業予定書

活 動 内 容	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
	別紙添付
活動スケジュール（活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。）	
時 期	活 動 内 容
2021年4月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週）
5月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週）
6月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週） まちづくり研究活動の発表展示（北銀座通り千代野にて）
7月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週） 「ことビル」内拠点運営開始・オープニングイベント
8月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週）
9月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週） まちづくり勉強会（セミナー）
10月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週）
11月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週） 地域イベント参加
12月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週）
2022年1月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週）
2月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週）
3月	活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週）

# 2021年の活動

## ① 専門家を招いた勉強会

【西荻まちづくりの市民ビジョン共有に向けて】

## ② 新たな情報発信

【北銀座通り拡幅事業 自由研究発表会 2】



※①②が助成活動

## ③ 活動拠点づくり

【まちの未利用地活用】

## まちをつなぐ 社会実験

【夢のキッチンカーPJ】



## ちょっと昔の西荻の話 #1



北越通りでグリーンング区を貫く里川を歩きながら、ちょっと昔の西荻の話を聞きましょう。

ゲスト：織入孝子さん、ほか  
開催：西荻のこと研究所  
参加費：無料（カフェドリンク別途注）

【ちょっと昔の西荻の話】

## 勉強会・ワークショップ

【善福寺川を里川にカエル会との協働】

## まち歩き・他事例現地調査

【西荻まちあるき、麻布十番・下北沢】



## 情報発信

【北銀座通り拡幅事業 自由研究発表会】



# 2020年

【補助132号線 地権者等アンケート実施】

## 住民意向の表出



## 行政との協働

【西荻の未来を考える会議】

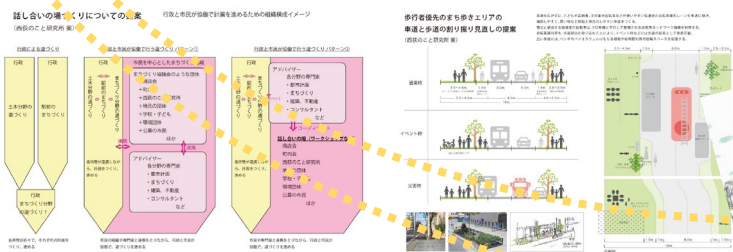
【国交省・東京都へのヒアリング】

## ウォーカブルシティ

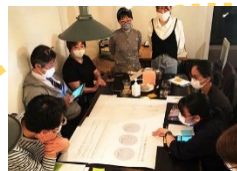
## グリーンインフラ

## まちづくり提案

【北銀座通り拡幅の計画とプロセスに関する西荻北銀座商友会との協働提案】



## 定例会議



## メールマガジン



【東京ガス跡地LIFEへの提案】



令和3年5月31日

杉並区長 宛

代表者 住所

氏名 梶山 彩

電話

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	あさうんど・あーす
事 業 期 間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・びぎなーコース ○ すてっぴコース</li> <li>・じゃんぴコース ・ 協議会助成金</li> </ul>
助成金の使用目的 及び事業内容	<p>【あさうんど・あーす】とは、2020年度すぎなみ地域大学まちあわせカフェのまちづくり講座がきっかけで集まったメンバーで結成後、阿佐谷を中心とする杉並区全域に向けて『住みやすいまち』にすることを目的とする団体です。</p> <p>「ヒトとヒト」「ヒトとマチ」をつなぐことで生まれる多世代間の交流や新たなコミュニティのきっかけをさまざまな企画等で行うことを目指します。</p> <p>今年度は年間を通じて「スマホ講座」を開催し、参加者同士のつながりだけでなく、多世代間コミュニティともつながるきっかけづくりを目標とします。</p>
事業に要する総費用 予定額	105,000円
助成金交付申請額	70,000円
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日 (協議会助成金のみ記入してください。)
添付書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 規約・会則 (びぎなーコースのみ提出してください。)</li> <li>(2) 構成員の名簿</li> <li>(3) 収支予算書</li> <li>(4) 事業予定書</li> </ul>

## 構成員の名簿

団体名称と	ふりがな 名称 あさうんど・あーす		
	事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	〒 所在地	Tel. Fax.
代表者	ふりがな 氏名 梶山 彩		
	住所 Tel. メールアドレス		
連絡先  ※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	ふりがな 氏名		
	住所* 〒 メールアドレス*		Tel. *
活動メンバー  ※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。  ※名簿を添付する 場合は、「別添」 と記入して下さい。	氏名	グループの役職	職業等*
	梶山 彩	代表	
	菅野 康彦	会計	
	羽田 由利子	監査	
	大矢 正男		
	杉内 真奈美		
メンバー以外 の協力員等	平山 正人・竹崎 真紀子・坂下 一江・松田 恵・猿田あけみ		

《注意》 すてっぴコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。  
\*印の欄については非公開とします。

## 収支予算書

### 《収 入》

内 訳	金 額
会 費	2,000 円 (内訳；年間×5名)
杉並区まちづくり助成金	70,000 円
他からの助成金	0 円
受講者参加費	25,000 円 (500 円×5 人×10 回分/資料・ 場所代等)
合計	105,000 円

### 《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費	資料作成費 (スマホ講座用) 講師謝礼 (4,000 円/日当/年3回) 材料費 (内訳) 講座実施のための材料費	10,000 円 12,000 円  10,000 円	32,000 円
(2) 広報活動費	チラシ制作費 (内訳) デザイン制作費含む 郵送費	10,000 円  1,000 円	11,000 円
(3) 事務運営・ 事業実施費	印刷代・消耗品 (内訳) パソコンインク代 資料印刷代 会場使用料※場所により変動	7,000 円  20,000 円	27,000 円
合 計			70,000 円

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費  
事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

## 事業予定書

活 動 内 容	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
①	コロナ禍においても人と人のコミュニティづくりを体験型講座で開催する。
②	講座は、完全予約・少人数制とし、安全安心のコロナ禍での開催の実施とすること。
③	まちづくりテーマ型の活動団体として様々な企画の中でも、今年度は継続性をもつ「スマホ講座」を実施すること。(前年度実績；マスク手づくり講座・子どもダンス講座)
④	会として活動の継続性に挑戦することで、多世代コミュニティの交流を広げながらまちづくりの地域課題を調査すること。
⑤	地域課題などを随時精査しながら、情報の発信でのつながりづくりも検討・実行したい。。 (別紙参照；今年度スマホ講座)
活動スケジュール (活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。)	
時 期	活 動 内 容
令和3年4月	
5月	5/31 杉並区まちづくり ステップコース申請
6月	6/12 まちづくりセミナー・公開審査会 定例会、スマホ講座
7月	定例会 スマホ講座
8月	定例会 スマホ講座
9月	定例会 スマホ講座
10月	秋の交流会・中間報告会 定例会、スマホ講座
11月	定例会 スマホ講座
12月	定例会 スマホ講座
令和4年1月	定例会 スマホ講座
2月	定例会、スマホ講座 活動報告及び会計報告
3月	定例会、スマホ講座 活動報告会

いつまでもスマホ操作が分からないまま

誰にも聞けない・使えないを続けますか？

家族や友人など何度も聞けないとお悩みのあなたへ

## スマホ“超やさしい”初心者講座 第4弾

こんなお悩みはありませんか？

- 家族に教えてと聞いたことがあるが、家族の機嫌が悪くなる！
- 同じ質問の答えを何度聞いても、すぐに忘れてしまう！！
- わからないところがわからないから、質問の説明ができない！
- スマホのいろいろな機能「基本のキ」から順番に学びたい！
- 習い事がひとりでは長く続かないので、お友達がほしい！
- いろんな講座や会があるが、親切で気軽な行き先がほしい！
- “人生100年時代”とにかくこのままだとなにかが“不安”だ！

もしかしたら…、あなたの毎日のお悩みが解決するかも？！

### 5つのチェックポイント

- ✓ 毎回、各講座の大事なポイントの復習が何度もできる！
- ✓ 各回の授業内容にそった丁寧な基本操作説明が学べる！
- ✓ 参加者同士の『教え合いながら』のスマホの実践をやる！
- ✓ 友だちづくり『100友』のきっかけや『楽しい』を発見できる！
- ✓ 自由選択制のライン「スイング・グループ」にも参加も可能！

あなたの悩みが解決できない毎日を諦めないでください！！

“あさうんど”があなたの“ツナガリ”の支えになります！！

【問合わせ先】

杉並区まちづくり団体認定 あさうんど・あ～す

# スマホ操作が分からないを諦めるのか？

“やる、やらない”を試してから決めてください。

## ご案内

日時:2021年4月15日(木)13:00 ~15:00

場所:荻窪地域区民センター 第4集会室  
(荻窪2-34-20)

対象:どなた様でも

参加費:1名様 500円 (場所・印刷代含む)

定員数:5名様 (先着順/完全予約制)

締切日:4月13日(火)18時まで

申込み方法:電話またはメール(LINEラインもOK)

## おねがい

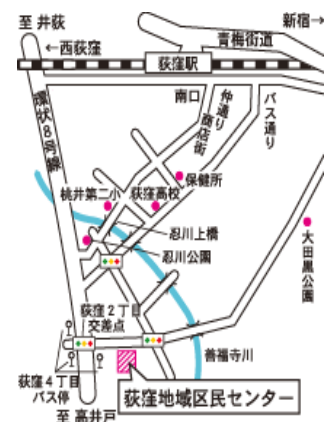
- ご自身のスマホを持参(充電の確認)
- 通信料等、各自負担のご了承ください
- 講座後のアンケートにご協力ください
- 講座参加は各自マスク着用必須!
- 講座当日の消毒と検温のご協力!
- ソーシャルディスタンスにご協力を!

## 皆様と共に2021年1月開始

- ☆LINEグループ[スイングチーム発足]
- 第1回:用語集とライン操作説明
- 第2回:スマホアプリのダウンロード
- 第3回:スマホカメラで撮影~基本編
- 第4回:スマホカメラで撮影~続編
- 第5回:スマホでいろいろ「検索」予定

## ☆参加者アンケートの感想☆

- \*女性 70代 楽しい講座でしたので毎月やってください。
- \*女性 70代 写真の件、とても良くわかりました。
- \*男性 70代 少し難しいところがあったので理解には時間がかかる。
- \*男性 80代 理想は1対1でないと十分な理解は無理だ。
- \*男性 70代 良かったです。ユーチューブやズームを教えてください。
- \*男性 60代 もっと色々なことを皆と一緒に勉強したいと思う。
- \*女性 60代 勉強になりました。不要なライン仲間を削除したい。等



## 【問合わせ先】

杉並区まちづくり団体認定 あさうんど・あ〜す

令和3年5月31日

杉並区長 宛

代表者 住所

氏名 豊川 充子

電話 ( )

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	ひとの樹
事 業 期 間	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎなーコース ・ <u>すてっぴコース</u> じゃんぴコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	人と人との繋がりを考え、大人も子供も共に育つ生涯学習の場を提供し人と人との結びつきの中から、地域が活性化できるように個々の意識を高め循環型の地域を目指すこと。 旧杉八震災救援所と連携しながら当会で開催する災害・防災関連の企画や運営全般のコーディネートを行う。
事業に要する総費用 予定額	70,000
助成金交付申請額	70,000
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日 (協議会助成金のみ記入してください。)
添付書類	(1) 規約・会則 (びぎなーコースのみ提出してください。) (2) 構成員の名簿 (3) 収支予算書 (4) 事業予定書

## 構成員の名簿

団体名称と	ふりがな      ひ の の き 名 称      ひとの樹		
	事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	事務所 〒 所在地	Tel. Fax.
代 表 者	ふりがな      とよかわ みつこ 氏 名      豊川 充子		
	住 所* Tel. * メールアドレス*		
連 絡 先  ※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	ふりがな 氏 名		
	住 所* 〒 メールアドレス*		Tel. *
活動メンバー  ※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。  ※名簿を添付する 場合は、「別添」 と記入して下さい。	氏 名	グループの役職	職 業 等*
	豊川 充子	代表	
	大野 由美	副代表	
	羽田 悦子	会計	
	川島 郁夫		
	林 正弘		
メンバー以外 の協力員等			

《注意》 すてっぷコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。  
\*印の欄については非公開とします。



## 収支予算書

### 《収 入》

内 訳	金 額
会 費	10,000
杉並区まちづくり助成金	70,000
他からの助成金	
合計	80,000

### 《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費	講師謝礼	3,000	14,000
	資料作成	3,000	
	会場使用料	8,000	
(2) 広報活動費	チラシ・パンフレット・ お便り等作成・印刷	30,000	30,000
(3) 事務運営・ 事業実施費	会場使用料	3,000	26,000
	インク代・コピー用紙等	10,000	
	事務消耗品費	13,000	
合 計			70,000

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費  
事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

## 事業予定書

活 動 内 容	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
会議等開催	
旧杉八小震災救援所の会議参加	
旧杉八小震災救援所の組織コーディネート	
震災・災害のための訓練及び勉強会、グループミーティング開催	
地域の間づくりの提供（顔面体操や災害0日講座等）	
各事業に必要なチラシ・パンフレット等の作成。SNSの活用。	
他団体との連携	
kokoronotayori配布	
その他 まちづくりセミナー等参加	
活動スケジュール（活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。）	
時 期	活 動 内 容
令和3年4月	震災救援所関係会議・打ち合わせ等
5月	震災救援所関係会議・打ち合わせ等
6月	震災救援所訓練。定例会議。
7月	ケア24会議。定例会議。kokoronotayori配布。震災救援所打ち合わせ
8月	震災救援所会議。震災救援所勉強会、グループミーティング開催。定例会議。
9月	ケア24会議。定例会議。他団体との懇談会。
10月	震災救援所訓練。定例会議。秋の交流会参加
11月	ケア24会議。定例会議。kokoronotayori配布。
12月	震災救援所グループミーティング。定例会議。
令和4年1月	ケア24会議。震災救援所ショート訓練。定例会議
2月	震災救援所会議。定例会議。kokoronotayori配布
3月	震災救援所報告会。定例会議。ケア24会議。まちづくり報告会

令和3年度 まちづくり助成応募団体一覧

コース	グループ名 代表者	活動内容	備考
すてっぷ	ひとの樹 豊川 充子	人と人との繋がりを考え、大人も子供も共に育つ生涯学習の場を提供し人と人との結びつきの中から、地域が活性化できるように個々の意識を高め循環型の地域を目指すこと。 旧杉八震災救援所と連携しながら、当会で開催する災害・防災関連の企画や運営全般のコーディネートを行う。	元年びぎな一 2年すてっぷ 3年すてっぷ
	あさうんど・あーす 梶山 彩	2020年度すぎなみ地域大学まちあわせカフェのまちづくり講座がきっかけで集まったメンバーで結成後、阿佐ヶ谷を中心とする杉並区全域に向けて『住みやすいまち』にすることを目的とする団体です。 「ヒトとヒト」「ヒトとマチ」をつなぐことで生まれる多世代間の交流や新たなコミュニティのきっかけをさまざまな企画等で行うことを目指します。 今年度は年間を通じて「スマホ講座」を開催し、参加者同士のつながりだけでなく、多世代間コミュニティともつながるきっかけづくりを目標とします。	2年びぎな一 3年すてっぷ
	西荻のこと研究所 松本 弘子	1.まちづくり勉強会（セミナー）の開催 大きな変化の時期を迎えている西荻窪駅周辺のまちづくりについて、専門家の力を借りて、市民でビジョンを共有していくためのきっかけづくりとしてセミナーを開催する。 2.北銀座通りの道路拡幅、自由研究発表会 補線132号の道路拡幅の実施に関して、杉並区から公開されている情報を整理・提供するとともに、地元における様々な活動やまちづくりに関する提案などを展示し、地元の方々や西荻を訪れる人への情報発信を行い、ともに考える仲間を募る。	2年びぎな一 3年すてっぷ
びぎな一	高井戸公園 アニマルズクラブ 中村 宗亮	都立高井戸公園を中心に地域住民（動物と一緒にくらしている人もそうでない人も）だけでなく、一緒に暮らしている動物、地域に生息する生き物、全てが快適に利用できる場づくり、まちづくりを目的とした活動を行う。 ・動物を飼っているひと、そうでないひとの区別なく全ての人が快適に過ごせる場の創出に向けた活動 ・動物を飼っている人の地域におけるマナー向上へ向けた活動 ・マナーアップ教室や災害時のペットと一緒に避難について講演等のイベント開催 ・会報誌の発行	3年びぎな一
	ままころ 湯澤 美典	ボランティア子育て支援を始めて11年になり、昨年6月からオンライン開催を開始しました。オンラインでは杉並区外の人ともつながれます。しかし同時に感じた事は、この杉並のまちで共に生活している『共感と安心感』です。 子育て世代が『このまち杉並で子育てできて良かった』と思ってもらえるよう、私たち支援者からの目線だけではなく、子育て世代とこのまちの『子育てに良い環境』（例えば子育て応援券・子どもセンターなど）、『より良い子育て環境にしていこう』（例えばファミサポの充実・親子で立ち寄れる施設の設立など）、両面の意見を、子育て世代が予約なしで立ち寄れる場所を開催することにより、子育て世代の声を聴き、杉並区に伝える媒体となり、子育てしやすいまちづくりにつなげたいと願う、活動をしている。	3年びぎな一